

# 滋賀県病院協会報



発行所  
滋賀県病院協会  
大津市京町四丁目3-28  
(滋賀県厚生会館)  
TEL 077-525-7525  
http://sbk.co-site.jp/  
発行人 会長 金子 隆昭

## 新型コロナ3年を迎えるに当たり

一般社団法人 滋賀県病院協会

会長 金子 隆昭



ロシアが突然ウクライナに侵襲してから1ヵ月が過ぎました。以前よりロシアはウクライナに侵襲すると報道されていきましたが、まさか現実のものになるとは思ってもいませんでした。ロシア軍が産科小児科病院を爆撃したり、民間人の避難場所を砲撃したりと、人道に反する野蛮な行為が行われていることが連日報道されています。そして核戦争が発生するリスクまで取り沙汰されるようになりました。もし核戦争が生じれば、人類滅亡の危機にまで発展することとは、人類共通の認識で

す。狂気の中でも人類の理性がそのような事態の抑止となることを願ってやみません。一刻も早い戦争の終結を強く願っています。そして犠牲となられた皆様のご冥福をお祈りし、ウクライナ国民の皆様の安全安泰を心より願っています。

滋賀県で新型コロナウイルス感染症の発生が確認されたから2年が経過しました。この間、滋賀県病院協会も大きな影響を受けました。新型コロナウイルス元年ともいえる令和2年度には、理事会はWebで行い、通常総会で諮る案件は書面決議としま

び若手医師のためのフォーラム、医師臨床研修指導医講習会、そして病院大会の一環としての県民公開講座は、県外での研修会の開催状況なども参考にして、完全Webで開催しました。Webによる研修会、講習会は全国的にもすっかり定着してきた感があります。が、いくつか問題点もはつきりしてきました。今後改善できることは改善し、更に充実した研修会にしていきたいと考えています。

現在、新規患者数は減少してきたものの、新型コロナウイルス感染症の第6波が継続しています。県内病院の皆様もこれまで大変な苦勞をされ、いまだに気を緩められない状態が続いていると思われまふ。ただこの2年間、滋賀県内の病院と滋賀県

が連携しあって対応してきた結果、限定的な医療の逼迫はあったかもしれませんが、全体としては大きな医療の逼迫はなかったと思っています。しかしながら、新たな変異株の出現も確認されており、まだまだ油断することはできません。新型コロナウイルス3年となります令和4年度も、会員病院の皆様と団結し、医師会や行政とも連携しつつ、この難局を乗り切っていきたいと考えています。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

(彦根市病院事業管理者 兼彦根市立病院院長)

新型コロナウイルスの第一線で今も活躍して頂いている先生です。

昨年、コロナ禍で救急受診は困難を極めていました。軽症の様子を見て安易に救急受診をしないようにとマスコミなどは喧伝しています。救急にかかると、受ける側にもたくさん問題があり整理して頂きたく講演をお願いしました。私も整形外科医になって40年間、救急の一日として今まで担当業務をしてきました。令和3年度で定年退職いたしますので令和4年3月12日の日直が医師人生最後の日直になり寂しさを感じました。今までの縁あって滋賀・琵琶湖をこよなく愛されるようになり滋賀県の救急の

## 令和3年度 滋賀県病院協会県民公開講座を開催して

座長 滋賀県病院協会 理事 鈴木 聡

(高島市民病院 院長)



重症が軽症かはわからず救急医療は提供される場所、時間帯、状況、患者背景に応じて最善を目指さないといけないと話されました。太田教授が救急医療は社会のセーフティネットであると言

い切れるのはいい加減な気持ちで救急医療に携わるのではなく覚悟をもって携わっておられるのを表しているのだと感じました。

ご講演頂いた太田教授、熱心に参加いただいた視聴者のみなさんに改めて感謝いたします。



「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

## 私の主張

ぶん様変わりました。

この中で、ますます機会に触れるのが「発熱」

対症である。日本では腋窩温測定が一般的なので、

外気温や着衣などの強い影響を受ける。昔からよくあるが「普段34度なのに今日は36度もあるんです」という訴え、大丈夫



「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

新型コロナウイルス感染症がまん延し、とどまるどころを知らない。感染者数は、流行の波が来るたびに増大している。この2年間で、旅行・出張の減少やオンライン活用など一般の生活も変化したが、入口の手指消毒、面会制限など病院のあり方もずい

ちようと一年前、コロナワクチン接種が始まるころ、海外の試験で発熱が高頻度に生じることが

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司

「たかが発熱、されど発熱」

近江八幡市立総合医療センター 院長 白山 武司



令和3年度 滋賀県病院協会 県民公開講座

救急医療の実践

—医学科講義で学生に伝えていること—

WEB 研修会

講師 京都府立医科大学 救急医学教室 教授 太田 凡先生

日程 令和4年2月6日(日) 13:30-15:20

参加費 無料

定員 500名

申込先 一般社団法人 滋賀県病院協会 TEL.077-525-7525

### 近畿病院団体連合会 第2回委員会開催 「オミクロン株への対応について意見交換」



一般社団法人滋賀県病院協会 副会長  
地域医療機能推進機構 滋賀病院  
院長 来見 良誠

令和4年2月18日(金)奈良県病院協会が幹事となり、令和3年度近畿病院団体連合会第2回委員会がオンラインで開催され、各府県の病院協会からは49名の参加があり、当協会からは会長・副会長・事務局長が出席した。  
奈良県病院協会会長の青山信房氏の開会挨拶に続いて、奈良県知事の荒井省吾氏の挨拶の後、協議開始となった。協議事項は、奈良県病院協会から「オミクロン株への対応」

チン接種の推進、について報告した。また、入院治療数と自宅療養者数の比較において、入院治療者数は氷山の一角であることが分かる最新のデータを供覧した。これに続いて、京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県からの報告があり、各府県の現状を情報共有することができた。

特別講演では、「我が国の医療施設の現状とコロナ禍を受けての今後の動向」をテーマに、奈良県立医科大学公衆衛生学講座の今村知明教授による講演が行われた。政府の方針として、医師の偏在対策・地域医療構想・働き方改革については、三位一体で推進していくものであることを多数のデータを元に詳細な説明がなされた。



滋賀医科大学医学部附属病院  
泌尿器科医師 田中 翔

JATECはJapan Advanced Trauma Evaluation and Careのことであり、外傷初期診療を体系的に学べるプログラムのことです。私は令和3年12月4、5日開催のJATECに参加させて頂きました。当直で外傷診療には携わってききましたが、今回のコースで知識の整理と外傷対応の手法が学べたように感じます。JATEC

を行うことで皆が同じ手順と水準で診療を行うことができるようになります。Secondary Surveyにて頭部CTを優先する条件やTrauma Panel、胸部X線、骨盤X線の読影手順も全て体系化されているので迷いなく診療することができるようになります。  
プログラムは2日に渡り、実際に気道確保や胸腔穿刺/ドレナージ、FAST、心臓穿刺、骨髄路確保、Primary SurveyとSecondary Surveyの流れる一日目と様々な外傷シナリオが用意され実際にドクター役として外傷診療を模擬した。コース受講の際に体験する2日目に分かれていきます。1日目に学んだことが2日目で経験として習得できるプログラム構成となっています。  
私は普段泌尿器科の医師であり、救急科の先生と違い高エネルギー外傷などの経験数は多くありませんが、だからこそPreventable Trauma Deathを起さないために外傷診療について学ぶ意味があると感じました。  
実際にJATECコースを受講する先生の診療科は救急科、外科、整形外科は救急科、外科、整形外科、脳神経外科などが多かった印象でしたが、外科以外の先生も少数ですが参加をされています。最後にJATECし

### 令和3年度第2回医事研究会 「指導・監査等」で指摘される、 保険診療のルールに参加して



独立行政法人国立病院機構  
東近江総合医療センター  
経営企画室長 岸本 勇

令和4年1月14日、滋賀県病院協会会議室からWeb配信の形で令和3年度、第2回医事研究会が開催されました。  
12月にはコロナ感染症は落ち着きを見せたかと思われましたが、1月に入りコロナ禍は激しくなり、研修会については感染症予防の見地から病院協会会議室からのWeb配信となりました。参加者

は45病院、151名の参加がありました。  
今回の研修のテーマは「指導・監査等」で指摘される、保険診療のルールというテーマにより株式会社ソラスト 関西ブロック 業務品質課 中野久美子先生に講師をしていただきました。  
内容については①保険診療における指導・監査の状況について、②具体的

的な指摘事項についての事例(厚生労働省および厚生局が実施した全国の適時調査・個別指導)において、保険医療機関(医師)に改善を求めた主な指摘事項をもとに、具体的な事例について、①報酬改定(改定の基本方針)について講義を受けました。  
具体的には行政による指導・監査の状況について、個別指導、適時調査、監査により令和元年度は約109億円の返還金額があり、指導件数は、増加傾向、返還金額も前年度より21億円の増加となっている。近年は新型コロナウイルス感染症の影響により実施されていない状況ですが、今年度は書面にて書類点検により、適時調査に実施となっていました。これは皆さまの病院でも提出されたと思いませんか。そこで必要とされるのが、施設基準の管理です。これは施設基準の届出が簡素化され、届出が不要になったからこそ管理が重要で、退職や配置変更等により従事者の変更があった場合、施設

基準を満たしているなら変更届は不要ですが、そのため満たされていた証拠となる書類やデータの管理が出来ていないければ、指導・監査において、従事者の配置がなかったと言われる可能性があり返還となります。変更理由、変更内容をキッチリ把握できていないことは、日頃から管理しておけば大丈夫、気を緩めず、管理しないと、再認識しました。せっかくの収益が返還させられればと思うと身を切る思いです。ね。また保険診療のルールを理解していただければ、気づかずに不正・不当請求をしてしまつ、あ

最後に次回は滋賀県私立病院協会が幹事であることが報告され、閉会となった。  
体制、カルテ記載は出来ていますか?という問いがあり、皆さまの病院では返還から守る組織づくり出来ていますか、考えさせられます。やはり日頃から続けるということが大事だと認識させられました。最後には皆さんの関心がもつろん高いい、2022年度診療報酬改定の基本方針の説明を受けました。現在では令和4年3月4日付けで概要の内容がはっきりと取り組んでおられることかと思えます。今回の研修において全般的に医事の業務の必要性を実感させられました。

### 令和3年度看護部長部会研修会 『笑いが組織・職場環境を変える』に参加して



看護部長部会 委員 日高 学  
医療法人社団幸福会 青葉病院 看護部長

令和4年1月20日、令和3年度看護部長部会研修会が開催されました。今回、コロナ禍の中の研修形式については、昨年度同様に滋賀県病院協会会議室からのWeb配信となり、参加者数は48病院から142名の看護管理者の参加がありました。研修テーマの講師には、「クラウン」の役割であり、お客様やスタッフを主役にしていくことは「笑い」です。と話されました。今回は、病院





受賞おめでとうございます

(病院協会からの推薦者)

※令和3年度公衆衛生事業功労者表彰

一般財団法人 日本公衆衛生協会会長表彰

令和4年3月28日(月) (滋賀県庁にて伝達式)



市立長浜病院 顧問 神田 雄史氏

公益財団法人 滋賀県健康づくり財団 理事長表彰

令和4年2月16日(水)受賞



滋賀医科大学 医学部附属病院 診療放射線技師 木田 哲生氏

読売新聞社主催 「第50回都道府県医療功労賞」受賞

令和4年2月受賞(表彰式は中止)



社会医療法人誠光会 淡海医療センター 理事 理事長特別補佐(心臓血管・心不全センター長) 和田 厚幸氏



生には、本当に助けていただき正直お二人がおられなければ、大袈裟かもしれないですが当日大変な状況(GWなど全くできない、受講生が多数Web上に復帰できないなど)に陥っていた可能性がありました。本当にありがとうございました。
ただ、今回Zoomを使用した講習会、GWの入り口」を経験できたことは大変な財産となつていくと思います。
(病院協会からの推薦者)
※令和3年度公衆衛生事業功労者表彰
一般財団法人 日本公衆衛生協会会長表彰
令和4年3月28日(月) (滋賀県庁にて伝達式)
公益財団法人 滋賀県健康づくり財団 理事長表彰
令和4年2月16日(水)受賞
読売新聞社主催 「第50回都道府県医療功労賞」受賞
令和4年2月受賞(表彰式は中止)



令和3年度 優秀職員会長表彰受賞者(勤務の都合により出席者のみ)



令和3年度 病院業務功労者知事表彰受賞者

退院支援機能強化事業 全体研修会報告



地域医療機能推進機構 滋賀病院 副看護部長 兼地域医療連携室長 山元ふみ子 (大津圏域検討委員)

病院協会での退院支援機能強化事業として、多職種への全体研修会を行っています。昨年は、集合しての研修は取り行うことができませんでした。今年度はWeb研修で開催することができ29病院、保健所、訪問看護ステーション、包括支援センター、県担当者、総勢124名の多職種に視聴して頂きました。ここに簡単ですが報告いたします。

令和4年2月25日(金)14時から16時「コロナ禍の訪問看護ステーションの現状」とテーマにあげ、5つの医療圏の訪問看護ステーションより現状を伝えていただきました。まず東近江圏域では「ともに助け合いプロジェクト」での取り組みやトリアージの基準、健康観察の実際と課題についてまとめられ、地域全体が連携して対応することの大切さと平時でのネットワークが強みに生きることや学ぶことができました。湖南圏域からは小児・障がい児に特化した訪問看護ステーションのコロナ禍での活動状況

新任病院長の紹介

(令和4年4月1日付) 高島市市民病院 院長 武田 佳久氏

(令和4年4月1日付) 医療法人敬愛会東近江敬愛病院 院長 間嶋 淳氏

○病院業務功労者知事表彰受賞者(アイウエオ順) 3名(令和4年2月7日滋賀県公館に病院協会金子会長、来見副会長、若林副会長が参列、滋賀県三日月名(令和4年2月15日滋賀県病院協会会議室に金子会長、来見副会長、若林副会長が参列、記念品が左記3名に授与された。) セフィロト病院 看護師 牛谷 佳美氏

- 高島市市民病院 病院長 鈴木 聡氏
大津赤十字病院 事務部長 辻 勝氏
○優秀職員会長表彰受賞者(アイウエオ順) 16名(令和4年2月15日滋賀県病院協会会議室に金子会長、来見副会長、若林副会長が参列、記念品が左より賞状、記念品が左
記16名に授与された。)
高島市市民病院 診療部小児科科長 有田 泉氏
大津赤十字志賀病院 放射線技術課長 猪飼 正夫氏
済生会守山市民病院 臨床工学科士長 井上一生氏
東近江総合医療センター 院長 井上 修平氏
公立甲賀病院 副看護部長 岡 和美氏
長浜赤十字病院 検査部技師長 北村 則子氏
近江八幡市立総合医療センター 診療部長 高田 政彦氏
友仁山崎病院 病院長 高橋 雅士氏
市立大津市民病院 副院長 中嶋 敏宏氏
淡海ふれあい病院 薬剤科副部長代行 西出 和司氏
東近江敬愛病院 副院長 長谷川信雄氏
琵琶湖中央病院 医療技術部長 藤原 順子氏
滋賀医科大学医学部附属病院 糖尿病内分沁内科長 前川 聡氏
淡海医療センター 副院長 水本 明良氏
済生会滋賀県病院 副看護部長 溝口 寿代氏
水口病院 准看護師 山崎 千加氏

令和4年度 通常総会の開催(予定)
日時 令和4年5月25日(水)
会場 高島市今津総合運動公園 雨天の場合・無し
お知らせ
令和4年度 通常総会の開催(予定)
日時 令和4年5月25日(水)
令和4年度 第1回理事会
4月20日(水)
令和4年度 第2回理事会
5月25日(水)
令和4年度 通常総会予定
6月16日(水) 令和4年度 第3回理事会



病院協会今後の行事予定

- 令和3年度退院支援機能強化事業全体研修会
講師(パネリスト)
・(東近江圏域)訪問看護ステーションゆげ 管理者 雨森千恵美氏
・(湖南圏域)訪問看護ステーションちょこれーと。 管理者 多久島尚美氏
・(湖東圏域)彦根市立病院訪問看護ステーションほほえみ 管理者 西村 紀子氏
・(湖北圏域)訪問看護ステーションれもん 管理者 杉江美千子氏
・(湖西圏域)高島市訪問看護ステーション 管理者 武内美英子氏